

船橋市社会科セミナー通信 第188号

5.13日 報告

勉強会会場は、いつもの〈船橋市勤労市民センター〉。今回の出席者は、会場担当で事務局長の富澤真也（芝山西小）と佐藤一巳・野宮典子（浦安市浦安中）・円城寺淳（坪井小）・大野肇（県立行徳高校）・田口和子（秀明大学）の各先生と会長の池田（長野県安曇野市在住）の合計7名。今回は嬉しいことに田口和子（秀明大学）先生が久しぶりに参加してくれました。

しかし残念ながら目標の10名には今回も達することができませんでした。

その後の懇親会は、近くの焼き鳥屋で4名が参加でした。

1本目：日本史豆知識 ⑥

池田義光

長野県安曇野市在住の池田は現在、安曇野で3つの歴史勉強会（「古代安曇氏族の興亡の勉強会」「中世信州山城の勉強会」「近代自由主義者の清沢冽の勉強会」）に参加している。その他に、「古文書講座」や「安曇野検定講座」を受講した。どうやら私はけっこうな歴史好きで、他にも日本史に関するネットやTV番組を見たり本を読んだりすることも多い。すると日本史に関して何かと学ぶことになる。そこでセミナー会員の皆様のために、それらから得られた豆知識の一端を紹介することにした。

[1] 原始・古代の舟

1 日本では、船は、丸木舟→準構造船→構造船 の順に発達

(1) 丸木舟

①最初の船は、一本の木を切りとった丸木を削りぬいた^{くりぶね}刳船だった（単材刳船）。全長5～7mくらいが多い。

やがて、丸木どうしをつなぐ丸木舟がつくられるようになった（復材刳船）。復材刳船には二材構成・三材構成・四材構成などがあつた。

②こわれない、沈まないといった特徴を持ち、長い歴史の間使われ続け、つい最近まで使われた。

③削り舟の作り方

1) 石斧で大木を切り倒し、舟の長さを決める。

2) 舟の上下を決める。年輪の詰まった比重の高い方を底部とする。

3) 石鏟（せきぞく：やじり）で樹皮を剥ぎ、薄片石器（スクレイパー）・磨き石で外形を削り出す。

4) 中を削りぬく。その場合、石錘（せきすい：きり）を使って大木の縦横に切り込みを入れ、その部分を割って剥がしたり、火で炙って焦がし炭にして楽な状態にして削り抜く。

5) 船幅を広くする。原木よりも幅の広い舟を造る技術は、縄文後期。

削りぬいた所に水を溜め、焼けた石をたくさん入れて沸騰させ、木を柔らかくしたところで支木をはめ込み押し広げる。

(2) 準構造船

丸木舟の船体に両舷を板でつないで深くする準構造船が生まれた。これにより積載量が増した。

(3) 構造船

さらに船体を板だけで作った構造船がうまれた。

2 縄文時代の船… 丸木舟

国内最古の船として、約7500年前の丸木舟が発見されている。

縄文人は、石器を用いて丸太を削りぬいて丸木舟を作った。

丸木舟を河川や湖沼の他海岸の沿岸の漁猟などに使い、時には海を渡ることもあつた（それは黒曜石の分布で確かめられる）。

3 弥生時代の船… 丸木舟の大型化と準構造船の出現

弥生時代の人々は、鉄器の導入・普及により造船技術が飛躍的に向上した。

- (1) 引き続き丸木舟を作ったが、単材→2材の割り舟→船首・胴・船尾の3材割り舟へ発展し、大型化した。
- (2) 鉄器で、石器では難しかった板が作れたので、丸太を割りぬいて作った割り舟の左舷と右舷に舷側板を取り付け、高波に耐え、より大量積載できる準構造船も作るようになった。
- (3) 弥生時代の人々は、近隣地域を行き来するための川や沼、湖などの運行には縄文時代以来の丸木舟を、遠方への航海には弥生時代に登場した準構造船を利用してはいたものと思われま
- (4) 魏志倭人伝には「倭人が中国に航海する時、常に一人は、髪を梳らず、しらみを(と)り去らず、衣服は垢によごれ(たままにし)、肉をたべず、婦人を近づけず、喪に服している人のようにさせる。これを名づけて持衰(じさい)という。もし旅がうまく行けば、人々は生口(どれい)・財物を与え、もし(途中で)疾病があり、暴風雨などによる被害にあえば、すなわち持衰を殺そうとする。その持衰が謹しまなかったからだというのである。」という記述があります。こうした呪いや祈りが必要なほど、当時の準構造船による遠方航海は危険なものであったのでしよう。

4 古墳時代の船… 大型丸木舟と 準構造船の大型化

(1) 走行性・長時間航海が向上

- a. 左右の舷側に櫂を漕ぐ支点を設置。
- b. 多くの漕ぎ手が配置できるようにした。
- c. さらに、左右に分かれて漕げるような幅の広い船にした。

(2) 船や水運がさらに重要になった

- ① ヤマト王権が確立した古墳時代は、日本列島の広い範囲で人や情報、大量の物資や重量物がダイナミックに流通していました。陸上交通が未整備であったこの時代、列島規模での輸送には船や水運がとくに重要になった。
- ② 日本列島では古墳時代から活発になる中国・朝鮮半島との交流に欠かせなかった船が、大阪・奈良を中心にした中小規模の古墳から船形埴輪としてよく出土されている。そしてこれらの古墳の主はヤマト王権中枢に近い実務型の豪族ではないかと考えられている。朝鮮半島・中国との交渉窓口であり時には遠征用の軍船をだす役割も担ったのかもしれないという。

(1)



左画像(1)の埴輪(大阪・長原高廻り2号墳出土の船形埴輪)…船底部は丸太の割り舟で舷側板を組み上げて2層になって船首と船尾を堅板でふさいで耐航性や積載能力を増やす工夫をしている。

平成元年に大阪市は考古学・船舶工学など関連学者を動員して可能な限りこの船形埴輪に忠実に準構造船を復元した。この埴輪の櫂をこぐ支点の間隔から船底部の長さを12mと割り出し、寸法比と用材から幅を2mと決めた。

(2)



画像(2)(西都原古墳出土のゴンドラタイプの船形埴輪)…大きな楠材が豊富に取れた古代では船底部は長さ20mで幅2mは充分あったと思われる。ゴンドラタイプは古墳時代後期、6世紀にはこちらの方が多くなってきたようだ。どちらの船形埴輪にも、帆走のための帆柱はなく漕走が主であったのだろう。

[2] 岡山大教授、松木武彦著 『古墳とは何か』

1 日本列島に古墳はどのくらいあるのか

沖縄・北海道を除く全都府県のほぼ全部の市町村に古墳はある。

長さが数百メートルの巨大な前方後円墳から、長さ数メートルの小さな古墳まで。

日本には約15万基の古墳があるとされている。

2 「古墳」とは?

弥生時代の終わりに、社会の変化の中で、集団的・共同的・親族的な墳墓の形式が変化し、個人或いは個人と兄弟とを一つの墳丘に葬るようになった墓(個別墓)が古墳の本質。個別墓では墓によって埋葬される特定の主の神格化が図られたのではないか。

[広辞苑] 高く盛り土した古代の墳墓。日本では3～7世紀に当時の豪族ら有力者が盛んに造営した。

3 古墳時代とは

山川出版『詳説 日本史B』 「弥生時代の後期には、すでに大きな墳丘をもつ墓が各地に営まれていたが、3世紀中頃から後半になると、より大きな前方後円墳をはじめとする古墳が西日本を中心に出現した。」「古墳が営まれた**3世紀中ごろから7世紀を古墳時代と呼び、これを古墳がも**

っとも大型化する中期を中心に、前期(3世紀中頃～4世紀後半)、中期(4世紀後半～5世紀末)、後期(6世紀～7世紀)に区分している。古墳時代後期のうち、前方後円墳がつくられなくなる7世紀を終末期と呼ぶこともある。古墳時代の終末期は、政治史のうえでは飛鳥時代にあたる

4 古墳が現れるまで

(1) 縄文時代の墓…誰の墓でも墓に違いがあまりない

- ①浅い穴を掘って遺骸を埋めるだけの墓(土抗墓・土壙墓。70cm～150cmの穴)。墓を覆う土は多くは埋め戻しの土。木棺や石を積んだ墓も一部に見られるが少ない。
- ②後期・晩期は一部に副葬品を伴うこともある。遺体は屈葬が見られる
- ③墓地には、集団又は共同で葬られ、個人差を示すものは少ない
- ④墓地と住居地は未分離で、ムラの中につくられ、住居とともに円環や並列などムラの空間をデザインする

(2) 弥生時代の墓…墓に違いが認められ、違いが次第に拡大した

- ①土壙(土抗)墓以外に木棺墓・甕棺墓・石棺墓・支石墓などの違いが、地域的に現れた。
- ②北九州では埋葬が済んでからその上に土盛りした「封土墓」が、近畿では土盛りをしてからその中を掘って埋葬する「墳丘墓」が出現。近畿では「方形周溝墓」が出現。山陰には「四隅突出墓」が出現。
- ③弥生の墓地はムラの住居地とは区別され、ムラの外に作られた
- ④違いは三段階に進展した。第1段階では集団墓・共同墓地、第2段階で集団墓の中で不均等が現れ、第3段階で集団内の特定グループ(一族)の墓や墓地が特別扱いされ、さらに特定個人や兄弟の墓(個別墓)が出現。最後の段階の特定人物は(血筋や軍事力・経済力・呪術や農業の指導力などの能力で)ムラの「長」として実力を得た人々の墓ではないか。特定人物やグループの墓には青銅製の武器や鏡や玉などの宝飾品を伴った豪華な副葬品が添えられた。

※弥生時代の間に埋葬の単位が変化した

最初は「集団墓」。次は一つの墳丘に一族を埋葬する「親族墓」。最後はさらに小さな単位で兄弟や個人を埋葬する「個別墓」に変化していった。この変化は列島の広い範囲で一斉に起こったし、社会的上層にだけ起こったのではない。しかし「個別墓」の出現によって、特定の個人を特別扱いする考えに基づいた墓へと変化していく。それが次の時代の「古墳」へと結びつく。

5 3世紀中頃の前方後円墳の出現から古墳時代に

(1) 3世紀の中頃に古墳時代の始まり

- ①弥生時代に現われた「墳丘墓」から、3世紀中ごろには多くの円墳や方墳、前方後円墳・前方後方墳などの「古墳(個人或いは兄弟を一つの墳丘に葬るようになった墓=個別墓)」が現れた。
- ②円墳や方墳は小規模の古墳で群れをなし、これらの小古墳群に混じってその中に墳丘十数mから50～60mクラスの前方向後円墳や前方後方墳が出現し、さらに古墳群から少し離れた所にさらに大きくて墳丘100mを超えるような前方後円墳が造営された。大きな古墳は地域の長的な人々の墓で、小さな古墳は一般の人々の墓であったろう。
- ③円墳・方墳・前方後円墳・前方後方墳など様々な古墳が出現したが、最も数が多かったのが方墳で約9割。最も大きかったのが前方後円墳で、次に大きいのが前方後方墳であった。

(2) 古墳のしくみと様々な古墳

- ①古墳は「墓」であり、どの古墳も埋葬施設があって、大小や作りの差はあるが石室が作られてその中に遺体をおさめる木造の棺があった。石室は墳丘を作ってから1.5mから3m程度掘り下げて石室をつくる「堅穴式石室」で石室は埋葬される主の生前から何ヶ月かかけて建設された。さらそれ以前から何年かかけて墳丘が作られた。
- ②古墳の上には敷石がされ、古墳の上には埴輪(円筒埴輪が中心で形象埴輪は少ない)が並べられた。
- ③石室の中には、副葬品が納められた。埋葬された人や墳丘の規模の違いにより、副葬品の種類や数に格差があった。大きな墳丘ほど種類も数も多かった。
- ④大きくて副葬品が多い古墳は、埋葬された人の神格化を図る墓だった。

(3) 最初の前方向後円墳

古墳時代は「前方後円墳」から始まる。

最初の前方向後円墳の中心は、奈良盆地東南部の纏向遺跡の前方向後円墳群。纏向遺跡の前方向後円墳の最初の造営は3世紀中頃の「ホノケ山古墳」で、その直後の3世紀中頃か後半に、卑弥呼の墓と推定されている「箸墓古墳」が造営されたと見られる。「箸墓古墳」は墳丘長280mで纏向古墳の最大の前方向後円墳で周りをそれより小さな前方後円墳が取り囲む。

日本列島全体の宗教的・政治的中心地は3世紀中ごろには奈良盆地東南部となった。

山川出版『詳説 日本史B』「古墳時代前期の前半を出現期という。この時期の古墳の中で最大の規模をもつものは奈良県の箸墓古墳である」「奈良県の纏向遺跡では2009(平成21)年に3世紀前半頃の整然と配置された大型建物跡が発見され、邪馬台国との関係で注目されている。」(邪馬台国畿内説の有力な証拠と言われている)

(4) なぜ「前方後円」墳が造営されたのか?

形がなぜ前方後円なのかについては諸説ある。

- ①形象説…壺の形や車の形・盾の形、男女結合説など、何かの形を形どっているという説はたくさんあるが、実際前方後円墳では後円の円形はほぼ共通しているが前方にいたっては長さから幅からその形から様々で、全体としての形の共通性が乏しいので、形象説は採りがたい。
- ②中国起源説…古代中国には、天を円とし地を方とする世界観があり、都の南部に円壇を築き北部に方壇を築く考えがあって、その考えの影響を受けて日本で前方後円墳が生まれたという説。
- ③機能説…「方形」と「円形」に何らかの機能の違いがあるので前方後円墳が生まれたとする説。例えば、「円形部」は埋葬場所で「後円」と考え「方形部」はその祭壇なので「前方」とする説などがある。松木氏はこの説を採る。つまり前方部の上に立ち、そそり立つ後円部の石室部分を仰ぎ見て、そこに埋葬された人物の神性を感じ取る装置が「前方後円墳」だと考える。

6 3世紀の後半から4世紀の中頃に大規模古墳の造営

- (1) 3世紀の後半から4世紀の中頃に、大規模古墳(そのほとんどは前方後円墳)が各地に造営された。その規模は、後円部が50mを超す大型古墳、100m超の巨大古墳、150m超の超巨大古墳までである。大規模古墳のうち22基が奈良盆地南東部(纏向遺跡など)に集中している。特に後円部100m超の巨大古墳は奈良盆地南東部だけに見られる。
- (2) このことから、3世紀の後半から4世紀の中頃には奈良盆地南東部を中心に政治的なつながりをもった連合国家が形成され、連合国家の最高クラスの人物が150m超の超巨大古墳に埋葬され、彼らを支える人物が100m超の巨大古墳に埋葬され、その下の長たちが50mを超す大型古墳に埋葬されたのだろう。
- (3) 奈良盆地南東部(纏向遺跡など)の大規模古墳の集中度が高すぎる。大規模古墳のうち22基というのはこの地方の権力者だけが埋葬されたとは思えないほど数が多すぎる。
→これは奈良盆地南東部を越えた他の畿内各地や吉備地方の長たちが、纏向遺跡などの奈良盆地(ヤマト)で連合国家の政治をリードし、死後もそこに祭られたからではないか。奈良盆地南東部以外の畿内各地や吉備地方の長たちは死後は地元で祭られず(それが奈良盆地南東部以外に大規模古墳が少ない理由)、奈良盆地南東部に祭られたのではないか。この頃の奈良盆地南東部はそういう特殊な場所だったのではないか。

7 4世紀後半から5世紀中頃に大規模古墳の広がり

(1) 4世紀後半から5世紀中頃の変化

- ①奈良盆地南東部だけでなく、九州から関東まで各地の古墳がさらに大規模化し、各地に100m超の巨大古墳が造営された。
- ②各地の大規模前方後円墳が、後円部と前方部が三段で、前方部はバチ型に広がりスロープ上に先端が高くなるという、ほぼ統一の形になった。
- ③大阪平野に後円部200m超の前方後円墳が大山古墳など五基造営された。

(2) 変化の理由?

- ①各地の大権力者の墓がわざわざヤマトで営まれずに地元で造営されるようになった。
- ②古墳の形や造営方法・技術、考え方などの古墳文化が同一様式の前方後円墳に統一された。
- ③大阪平野には大王クラスの古墳が造営された。各地の大規模古墳の主との間に権力のランクの違いが明確になった。

8 5世紀後半から6世紀にかけての古墳の変化

(1) 様々な変化

①前方後円墳の変化

前方後円墳に様々なスタイルが現れ、個性やローカル色が目立つようになった。

②石室の変化

4世紀終わりから5世紀に九州北部に横穴式石室の古墳が出現し他地域に拡大。さらに6世紀には別のタイプの横穴式石室を持つ「畿内型」の古墳が全土に拡大。

「横穴式石室」は中国・朝鮮からの影響

(2) 「縦穴式石室」から「横穴式石室」への変化の意味

①「個別墓」から「親族墓」への変化

「縦穴式石室」は一度造営したらそのままになるので個人や兄弟を同時期に埋葬。する「個別墓」だが、「横穴式石室」は入口を何度も開けて、2人から20人程度と別の遺体を埋葬できるので、「親族墓」へと変化。

②神格化の装置としての「古墳」から単なる埋葬の「墓」に変化

「縦穴式石室」に埋葬された個人は見上げる高所に永遠に眠り神格化されるのに対し、「横穴式石室」古墳はムラのごく近くに造営され何度もアクセスできる身近な「墓」へと、古墳の観念が変質した。

9 7世紀に古墳の消滅

(1) 「古墳」の消滅

古墳の形は、前方後円墳が次第に消滅し、円墳と方墳が増加しながら、7世紀には全体としてごく小規模な土饅頭ようになり、大規模な「古墳」は消滅していった。石室は次第に石が巨石化したあと、縮小して、古墳そのものが消滅していった。

(2) なぜ古墳が消滅したのか？

- ① 首長クラスの被埋葬者への神格化の装置だった「古墳」は、横穴式石室の浸透により変質し、彼らへの畏敬と格付けは政治の仕組み(律令制の位階・官職)によってなされるようになった。
- ② 仏教の伝来により、古墳に表れた伝統的な宗教観が崩れていった。(実力者は古墳の代わりに氏寺を建立)

[3] 日本の律令制下の「位階」

1 位階とは、国家の制度に基づく個人の序列の標示。律令制における官僚の序列の標示。

- (1) 皇族や臣下の区別によって位階名と大系が違う
皇族は、親王は一品から四品までの4階。諸王は正一位から従五位までの14階。
諸臣は正一位から従八位下までとその下は大初位上から少初位下までの30階。
- (2) 一位から三位までは正・従の各2階。四位から八位までは正・従をさらに上下に分けて各4階。
最下位の初位は大少それぞれを上下に分けて4階ある。
- (3) 五位4階と六位4階を、上から並べると、
正五位上→正五位下→従五位上→従五位下→正六位上→正六位下→従六位上→十六位下
- (4) 五位以下には内位と外位の別がある。内位は中央官庁勤めで外位は地方官庁勤め
四位以上はすべて内位。外位は外○○と示すが、内位は内○○とは示さない。
- (5) 五位以上と六位以下に大きな格差があった
① 五位より上の位が「貴族」で、昇殿が許される「殿上人」で、位田が支給された。
② 六位から下が昇殿の許されない「地下」で、位田は支給されなかった。
- (6) 位階に応じて礼服や朝服の色等が定められ、特定の色や素材の衣類、乗り物、所持品等の位階による制限があった。

2 官位相当制があった

- (1) 律令制では位階によって、就くことができる官職が決まっていた。
- (2) 例えば、正一位か従一位なら太政大臣、正二位か従二位なら左大臣か右大臣、正三位なら大納言、正四位の上か下なら卿(六省の長官)
- (3) ある官職で実績をあげると、まず位階の昇進を受け、それに伴って官職が上昇する。
- (4) すべての役人が位階を有していたわけではなく、官位相当制のない伴部・舎人などの最下級役人の中には無位の官人もいた。

3 蔭位の制があった

- (1) 律令制では従五位以上の貴族の子や孫を一定以上の位階を授ける「蔭位の制度」があった。(これが貴族の世襲制につながる)
- (2) 例えば父が正一位か従一位なら、嫡子は従五位下、庶子は正六位上、嫡孫は正六位上、庶孫は正六位下からスタートして次第に上昇していく。

[4] 古代日本の『歴史書』編纂事業

1 帝紀と旧辞

宮廷に伝わっていた、古代の神話・伝承・歴史をまとめた書物で、欽明朝頃に成立したと言われるがはっきりしないことが多い。『古事記』『日本書紀』編纂の重要な資料となった。『帝紀』と『旧辞』は区別できず、二つで一つという説もあるが、現存していないので不明。

- (1) 『帝紀』＝帝王本紀の意で、大王・天皇の皇位継承を中心とする古代の伝承や歴史などをまとめたもの。
- (2) 『旧辞』＝国の誕生や大王・天皇権力の確立に関する古代の神話や伝承についての物語風歌謡の類い。

2 記紀の成立

『古事記』と『日本書紀』の成立。奈良時代に政府(朝廷)の手による国家的編纂事業で二つの歴史書が成立した。いずれも天武天皇の命で編纂が開始。

律令国家の確立に伴って国家意識が高まったことを反映して、政府の立場から統治の由来や国家の形成・発展の経過を示すために、中国に習って国史の編纂事業が行われた。

- (1) 『古事記』3巻＝天武天皇の命で稗田阿礼が暗記していた、『帝紀』『旧辞』の、神代から推古天

皇までの天皇系譜や天皇家の傳承を、太安万侶が筆録して、712年に元明天皇に献上した書物。物語風の記述。漢字の音訓を用いて日本語を表現した(→国内向け)。

- (2) 『日本書紀』30巻・系図1巻=最古の官選正史。神代から持統天皇に至る天皇中心の国家成立歴史書。編者は舍人親王ら。年代を追って叙述する編年体で記述。元正天皇の720年に完成。『帝紀』『旧辞』、豪族の墓誌、政府の公的記録、個人の覚書、百済の文献など多くの資料を参考。漢文体で書かれた(→国外に日本国家をアピール)

3 六国史^{りっこく}

8世紀から10世紀初めにかけて勅撰され国家的編纂事業で成立した6つの正史。いずれも中国に習い、漢文・編年体で記述。

- (1) 『日本書紀』…720年成立。神代から持統天皇までを記述。
(2) 『続日本紀』…797年に成立。文武天皇元年(697年)から桓武天皇の延暦10年(791年)までを記述。
(3) 『日本後紀』…840年に成立。桓武天皇の延暦11年(792年)から淳和天皇(~833)までを記述。
(4) 『続日本後紀』…869年に成立。仁明天皇一代(833~850年)を記述。
(5) 『日本文徳天皇実録』…879年に成立。文徳天皇一代(850~858年)を記述
(6) 『日本三代実録』…901年に成立。清和・陽成・光孝の3天皇の時代(858~887年)を記述。

[5]「惣領制」の歴史

1 「惣領制」とは

- (1) 中世の武士社会において、惣領・嫡子(本家)を首長として庶子(分家)を構成員とする血族中心の結合体制。「惣領」は一族の所領を惣領するという語義から転じた)
(2) 「惣領制」と相続
武士は成立のころから<分割相続>であったが、均等分割ではなく、惣領を重点として他の子(庶子)にも一部分割する制度であった。
(3) 誰が惣領(嫡子)になるか…男子優先だが、長子とは限らず、才能などでも決まった。
(4) 惣領の役割
一族(一門)の首長として一族をまとめ率いる。
具体的には、①一族の祭祀(祖先の祭祀や氏神・氏寺の祭祀)を率いる。②一族に幕府からの軍役や課役を分担する(「御家人」となるのは惣領) ③戦時には一族を指揮命令して率いる

2 「惣領制」の成立

武士が成立した最初の頃(平安時代の中頃)から武士の一族は「惣領制」をとっていたと思われる。

3 「惣領制」の行き詰まり

- (1) 分割相続は当初は本家と分家がそれぞれに開発に精を出し一族全体として領地を広げようとめざしていたが、代替わりして新たな相続が行われるスピードに領地拡大のスピードが追いつかなく、しだいに相続領地の先細りが進んだ。
(2) さらに鎌倉時代の中期頃からは貨幣経済の進展についていけず窮乏化する武士がでた。
(3) さらに二度の元寇で、領地を質入れしたりして武具や兵を調達するなど経済負担が大きかったが、満足な恩賞が得られず困窮する武士が増加した。

4 「惣領制」の解体

(1) 分割相続から単独相続へ

分割相続が行き詰まった、鎌倉時代末から南北朝・室町時代には、次第に、庶子には分割されず、嫡子単独相続へと移り変わっていった。そのためこの時代には兄弟・一族間での相続(所領)をめぐる争いが激化した。

(2) 血縁的結合から地縁的結合へ

鎌倉時代末から南北朝・室町時代には、惣領を中心とした一族(血縁)の結合より、地域の結合が重視された。惣領以外は惣領に従うよりも地域の有力武士(守護大名、後には戦国大名)に従い家臣化された。惣領も地域の武士を家臣化することに力を注いだ。

2本目:知っ得ニュース 58

池田義光

今回も会員の皆さんが知っておくべきニュース、知って得するニュースをとりあげて、その解説を行いました。「知っ得ニュース」も毎回1本ずつ報告してきて今回で58回目になりました。

[1]世界最先端電子国家:エストニア

TV<池上彰ニュース解説>

1 基本情報

1991年にソ連から独立。面積は九州ぐらい。人口132万人。首都タリン。バルト三国の最北

2 電子国家ぶりはどこまで進んでいるのか

(1) 個人情報すべてが一元管理

全国民の行政やビジネスに関わるほとんどの個人情報が、データベース化されて、ネット上で一元管理されている

(2) 役所の行政手続き(戸籍・税金・その他)のほとんどは家でできる

家で、PCに自分の「本人認証カード」を読み込ませ、暗証番号を入力させたら、PC画面上で必要な操作をすれば、必要な行政手続きができる

PCに不慣れな人には、政府の講習会で懇切丁寧に教えてくれる

だから、役所を訪れる住民・国民はほとんどいない。職員数も削減できる

(3) ほぼキャッシュレス社会

スーパーや商店で買い物をするには、まず自分の「デビットカード」を機械に読み込ませてから、手持ちタイプのバーコードリーダーを受け取る。ほしい商品のバーコードをそのリーダーで読み取り商品をマイバッグに入れる。最後に「デビットカード」を機械に読み取らせて決済をする。すると即座に銀行の自分の口座から引き落とされる。買い物以外でも飲食店などキャッシュを必要としないものが多い。

3 なぜここまで電子国家になったのか

(1) 何度も他国に占領された影響

エストニアは今までに何度も他国(ソ連・ドイツ・デンマーク・スウェーデンなど)に占領された歴史を持つので、たとえ国土を失っても国家を残したいとの考えを持ち、「電子国家」政策をとったのでは。

(2) ソ連時代の政策の影響

ソ連時代にはソ連を構成する国は得意分野を分担させられたが、エストニアはIT産業を担当した。そこでエストニアにIT関係の優秀な人・技術が結集したので、「電子国家」政策の実施は比較的容易であった。

[2] いよいよ道徳の教科化が始まった!

今年2018年4月からいよいよ小学校で道徳が「特別の教科」になった。中学校は来年度2019年4月から道徳が「特別の教科」となる。

1 「道徳の時間」から「特別の教科」となって何が変わるのか?

- (1) 検定教科書が導入され、教師は道徳教科書を使用して授業を行わなければならない。
- (2) 学級担任は、道徳の教科の「評価」をしなければならない。
- (3) 教師(学級担任)は「考え、議論する」道徳授業に転換しなければならない。

2 道徳の教科化の背景(なぜ「道徳の時間」が教科になったのか?)

(1) 「道徳の教科化」は安倍内閣の宿願

安倍晋三氏は第一次安倍内閣の2006年に愛国心教育を重視した「教育基本法」改正を達成し、翌年に首相肝いりの教育再生会議が道徳を「徳育」という教科にするように提言した。この後、安倍首相が2007年に退陣して一端立ち消えになったが、2012年発足の第2次安倍政権で道徳の教科化は再び取り上げられるようになった。2013年に教育再生会議が再び、道徳の教科化を提言すると、2014年に中教審が道徳を「特別の教科」にすることを答申して、道徳の教科化が2018年4月から小学校で、2019年4月から中学校で実現することとなった。

(2) 「道徳の教科化」は、いじめ問題への対策として

2011年10月に滋賀県大津市の中学校2年生がいじめを苦に亡くなった問題などへの対応が強く求められ、いじめを許さない道徳的心情の育成は急務であると考えられ、「道徳の教科化」の方向が、教育再生会議などで打ち出された。

3 道徳授業の転換

(1) 価値観や心情の押しつけではない道徳を

今回の「道徳の教科化」は、いじめ問題への対策などとして強く打ち出されたのだが、いじめを許さない道徳的心情など、政府が求める価値観を児童生徒に押しつけることに対する批判や、戦前の軍国主義下で忠君愛国を中心とした心情育成を強力に推進した「修身」に対する批判が根強くあり、心情や価値観の押しつけでない道徳が求められる

(2) 「考え、議論する」授業への転換

従来の道徳授業では、「登場人物の気持ちを読み取る授業」が多かった。それに対し文科省は、問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れ、指導法を工夫し、児童生徒が「考え、議論

する」授業をすることを求めている。

4 道徳の「評価」は？

- (1) 評価者は授業者である学級担任。
- (2) 学級担任は、一人一人の児童生徒について、評価する
- (3) その児童生徒の個人内評価(他の児童生徒とは比較しない、その児童生徒の過去と比べて成長を評価)
- (4) 児童生徒の教科道徳における学習状況を評価する(内面や道徳性の評価よりも学習の記録)
- (5) 児童生徒を励ます評価をし、学習意欲向上や教師の指導の改善に生かす
- (6) 評価は、ABCや1～5などの数値で評価せず、文章で表現する
- (7) 当該児童生徒や保護者に分かりやすい表現に努める
- (8) 道徳の評価は、入学試験に活用しない(内申書に記述しない)

5 道徳の教科化にどう対応すべきか？を考える

(1) 道徳授業の転換に積極的に対応すべき

これまでの道徳授業は、ともするとあるべき価値観を前提としてそうした価値観に児童生徒を導くことを主眼とした授業をしていなかったか？しかし実生活で子どもたちが出会う問題にはそう簡単に答えが出せず、悩んだりつまづいたりすることが多い。そんな時どのようにしたらいいのか、子どもたちが考え、しかも他人と学びあって解決していく力を育成するような「道徳授業」を目指したい。

(2) 児童生徒を成長させる道徳評価へチャレンジ

① 前述したような道徳の「評価」は実は大変でしんどいことである。しかし、方向は間違っていない。最初から十分なことはできなくても、その方向で一歩一歩前進していくことをめざさなければならない。いろいろな書籍や教育委員会などが通知表の文例を出しているようだが、文例はあくまで一つの参考として過度に捉えられずに、自分で工夫を積み重ねることを薦めたい。

② また、評価の前提は、児童生徒をよく知ることである。そのために道徳授業中の児童生徒の個別の学習状況について、注目し、記録を心がける必要がある。教師の記録以外に児童生徒の記録を残すことを心がける必要もある。

[3] 最近の北朝鮮の変化について

昨年 2017 年までは、核実験とミサイル発射を繰り返し、アメリカのトランプ大統領と激しく対立していた北朝鮮が、今年になって「中朝首脳会談」と「南北首脳会談」を行い、この後は史上初の「米朝首脳会談」を予定している。さらに金正恩委員長は「日朝首脳会談」をやってもいいと文在寅大統領に言ったとのこと。

1 この変化はいつから、どのように起こったか？

- (1) この変化は、今年に入ってから北朝鮮が「平昌オリンピック」への参加を韓国及び I O C に打診してきたことに始まった。そして北朝鮮の参加が実現したことから、それに伴い選手団の韓国派遣、応援団の韓国訪問、芸術団の韓国訪問、南北統一旗での入場、アイスホッケーの南北統一チームの実現、金正恩の妹金与正の特使派遣など様々な南北融和策がとられた。この時に「南北首脳会談」呼びかけがされた。
- (2) 3月5日、韓国特使団が平壤を訪問し金正恩委員長と会談。4月末の「南北首脳会談」開催で合意。
- (3) 3月8日、韓国特使団が訪米。トランプ米国大統領が「米朝首脳会談」を決断。
- (4) 3月26日、金正恩委員長が電撃訪中。「中朝首脳会談」が実現し中朝関係の改善が図られた。
＜なぜ「中朝首脳会談」がなされたのか？＞
 - ① 北朝鮮のねらい＝「米朝首脳会談」の前に最近冷却化していた中朝関係を改善して、しっかりとした後ろ盾をえたいのではないかと。経済改善に中国の協力を得たい。
 - ② 中国のねらい＝「米朝首脳会談」の前に、この問題に関する中国の存在感を増したい
- (5) 4月1日、米韓合同軍事演習が始まったが、規模と期間を短縮。
- (6) 4月上旬、ポンペオ米 CIA 長官が訪朝し、金正恩委員長と会談。
- (7) 4月17、18日に米フロリダで「日米首脳会談」実施。
- (8) 4月21日に北朝鮮は、①核実験の中止 ②米本土に届く I C B M(大陸間弾道ミサイル)の試射中止 ③豊溪里核実験場の廃止 を発表した
- (9) 4月30日に、北朝鮮は標準時を30分早めて韓国と同一にすることを発表。金正恩委員長が「民族の和解、団結の初の実行措置として、朝鮮半島に存在する二つの時間を統一することから行っていく決心を表明した」

2 南北首脳会談

(1) いつどこで開かれたか

2018年4月27日、板門店で、韓国文在寅大統領と北朝鮮金正恩労働党委員長との間で「南北首

脳会談」が開催された。「南北首脳会談」は金大中・盧武鉉に続いて3回目。北朝鮮指導者が韓国側に入ったのは史上初。

(2) 「板門店宣言」

①非核化について

- 完全な非核化を通じて、核のない朝鮮半島を実現する共同の目標を確認した
 - ※「北朝鮮の非核化」ではなく「朝鮮半島の非核化」ということは在韓米軍にも影響か？
 - ※非核化の具体的な道筋には触れなかった

②南北の緊張関係について

- 今年、朝鮮戦争の終戦を宣言し、休戦協定を平和協定に転換し、平和体制を構築するため、南北米の3者または南北米中の4者会談の開催を推進する。
- 軍事的緊張と衝突の根源となる一切の敵対行為を全面中止する。

③今後の南北関係の進展について

- 文在寅大統領が今秋平壤を訪問する
- 当局者が常駐する南北共同連絡事務所を開城に設置
- 8月15日を契機に離散家族・親族の対面を進める

3 米朝首脳会談

(1)5月下旬か6月上旬に開催される。開催地はシンガポール、板門店などを検討中。

(2)3月8日、韓国特使団が訪米。トランプ米国大統領が「米朝首脳会談」を決断。

＜トランプ氏はなぜ受けたのか？＞

今年11月のアメリカ中間選挙(上下院議員選挙と州知事選挙)に向けて支持率向上狙いか？(事実、トランプ氏は支持者の集会で支持者からの「ノーベル賞」コールに大満足との報道。)

(3)4月上旬、ポンペオ米CIA長官(この直後に国務長官に就任)が訪朝し、金正恩委員長と会談

(4)主な議題…トランプ氏は「過去のような誤りはしない。有意義でなければ席を立つ」と宣言

①北朝鮮の非核化について

- 北朝鮮は核の全面廃棄に応じる姿勢を示している。
- 北朝鮮は核兵器の査察にも応じる姿勢
- 北朝鮮はICBMの廃棄にも応じる姿勢
- アメリカまず北朝鮮が非核化を達成したら、経済制裁を止める考え。
- 北朝鮮は段階的に非核化し、そのたびに経済制裁の緩和を求める考え

②米朝関係について

- 平和条約の締結へ進むか？ 北朝鮮は体制維持の保障を主張
- 在韓米軍の縮小や撤退は？

4 北朝鮮はなぜ突然変わったのか？ 北朝鮮のねらいは？

(1)北朝鮮は核開発はアメリカ本土を攻撃できるレベルに達したので、これからは経済に力を入れると主張。

(2)これに対し、日本などは国際的な経済制裁が効いたからと主張。

(3)しかし本当のことは今のところ不明。

[4] その他

1 オリンピックのメダルの値段はいくら？

(1)各メダルの金属の値段は？(オリンピックごとに多少違うので、ロンドン五輪では)

- ①金メダルは、金が1.34%、銀が92.5%で、値段は約4万円
- ②銀メダルは、銀が93%、残りは銅で、値段は約2万円
- ③銅メダルは、銅が97%、残りは亜鉛などで、値段は約350円

(2)メダルをオークションで売ると、いくらで売れる？

- ①金メダルは、約210万円～540万円
- ②銀メダルは、約105万円～315万円
- ③銅メダルは、約105万円以下

(3)メダリストへの日本の「報奨金」は？

(もちろん団体競技もメダリスト毎)

- ①JOC(日本オリンピック委員会)から、金は300万円、銀は200万円、銅は100万円
- ②各競技団体から、水泳では金は3000万円、体操では金は50万円、柔道は金でも0円

(4)外国の「報奨金」は？

アメリカは北京五輪時、金は約270万円

イギリスはいつでもどれでも0円

韓国は、北京五輪時、金約540万円、銀270万円、銅160万円

中国は、アテネ五輪時、金300万円、銀225万円、銅120万円

世界最高額は、シンガポールで、金約8480万円(まだ金メダルをとった人はいない)

2 最近の保育園入園事情は？

- (1) 今年4月の入園に向けて保育園に申し込んで落選した子どもは、26%
- (2) **保育園は不足していない？！** → 保育ミスマッチを知っていますか？

① 都市部保育園と郊外・地方の保育園

需要が多い駅前などの都市部中心部で、用地不足から保育園の入園可能数が少ない。
昨年4月時点で、保育園の定員は約274万人に対し、利用者数約255万人

② 保育園と幼稚園…共働きが増えると、保育園が需要増だが幼稚園は需要減

- (3) **保育ミスマッチ(都市部と郊外、保育園と幼稚園) 対策に知恵を絞る(例)**

① 東京都町田市駅前の「送迎保育園」

駅近くに住んでいる保護者が子どもを駅前保育園に連れて行く → 園児が何人か集まると、そこから園児は保育士といっしょに駅前保育園が提携している郊外の保育園にバスで移動 → そこで園児は夕方まで過ごす → 駅前保育園の保育士が保育園バスで迎えに来る → 駅前保育園に保護者が迎えに来る

② 岡山市では利用者減の幼稚園を活用

幼稚園の空き教室で一時的に保育を実施

幼稚園と保育園が一体化した「こども園」にするには、設備工事などが必要だが、一時預かりは簡単に実施可能なので

3 USJの計画づくりの知恵

＜TV: NHK 知恵泉＞ から

成長著しい＜USJではどのようにして「計画(プラン)」を立てているのか＞ その秘訣は

- (1) まずUSJ全体の目標を立てる: USJを集客年間3000万人のアジア第一のテーマパークにする
- (2) 目標達成のためには多くの集客力を見込めるテーマエリアが必要: ハリポッターエリアの建設
しかし莫大な建設費がかかるのでその資金を稼ぐ必要がある
- (3) ハリポッターエリア建設資金を稼げる程度の小テーマエリアを建設する: ファミリーエリアの建設
その建設資金を稼ぐ必要がある
- (4) ファミリーエリア建設のための資金作りは、施設建設をしないイベントで儲けることを考える:
ハロウィーン企画にゾンビの大群を出現させる

※こうして建てたプランを(4)から順に実施していく、という計画をたてた

4 雪下ろしをしなくてよい屋根＝無落雪屋根

＜TV: ビフォーアフター＞から

三角屋根でなく、ほぼ平面の屋根で、わずかに内側に傾斜している。屋根全体にルーフ・ヒーターが配線されており、屋根に降った雪を熱で溶かして、雪解け水が中央に集まり、それをパイプで排水するので、屋根には雪が積もらない。

5 2070年代に日本近海からサンゴ礁が消滅するかもしれない？→なぜ？

- (1) 現在のまま「地球温暖化」が進むと、水温が上昇して珊瑚が死滅する
- (2) 現在のまま二酸化炭素が増加して「海洋の酸性化」が進むと、二酸化炭素は水に溶けて炭酸になり、珊瑚のカルシウム成分を溶かすので、珊瑚礁が溶けて無くなる。

6 ソメイヨシノはなぜ広まったのか？

- (1) 桜の代名詞、ソメイヨシノ(染井吉野)

春といえば桜、桜といえば代表的品種はソメイヨシノです。ソメイヨシノの木は日本全国で数百万本あると言われています。つまり日本全国の桜の約8割はソメイヨシノ。

- (2) ソメイヨシノはいつ頃から栽培されたのか？

① 江戸時代末期、江戸の染井村(現在の東京都豊島区駒込)の植木屋がソメイヨシノを桜の名所である奈良県の吉野にちなんで、「吉野桜」として売り出しました。

② 後に、吉野の桜とは異なる種類であることがわかったため、1900年に本草学者の藤野寄命氏により、吉野の桜と区別するために、染井村の名を取って「染井吉野」と名付けられました。

③ その交配の由来は不明でしたが、1916年米国の植物学者ウィルソン氏によって、ソメイヨシノは「大島桜」と「江戸彼岸桜の雑種」の交配と発表され、後に国立遺伝学研究所の竹中要氏の実験によってこのことが証明されました。

- (3) **すべてのソメイヨシノは江戸時代の染井村の原木から生まれた**

① ソメイヨシノは接ぎ木からしか増えない。つまり今あるソメイヨシノは、江戸時代の染井村で生まれた1本の原木からの接ぎ木によって生まれた木の接ぎ木によって日本全国に広まったものの子孫。接ぎ木で殖やされた木は、元の木と同じ遺伝子を持ったクローンの木ができる。このため、すべてのソメイヨシノは全て同じ原木からのクローン。

② ソメイヨシノはクローンでどの木も同じ遺伝情報を持っているため、同じ気候条件で一斉に開花する。だから同一地方は同じ時期に開花する。

(4)なぜ各地にソメイヨシノが広まったのか？

ソメイヨシノは①花が一斉に咲き、②花の個数が非常に多く、③葉が出る前に先に花が咲く ことにより、非常にはなやかに見えるので、評判になり各地に一気に広まったと思われる。

7 先生の言葉で

(朝日新聞「声」欄への中学生の投稿)

僕はその時まで、学校で静かに過ごすという日々だった。だから人からは、あまり近づかれなかった。自分でも変わりたいと思っていたが、勇気が出なかった。

ある時、僕が言った一言でクラスの皆が一斉に笑った。その時先生が「小野君は人を笑わせられるから、もっとたくさん発言するといいよ」とおっしゃった。

それから僕はたくさん発言するようになった。人が笑うと自分も楽しくなる。そして、人を勇気づけられる教師になりたいと思うようになった。あの時の先生がいなかったら、今の僕は存在していなかっただろう。先生は生徒を勇気づけ、生徒の未来をよりよくするためにいるのだと思った。

あの時の先生の言葉は一生忘れないだろう。僕にかけがえのない夢を与えてくれた先生に感謝しつつ、先生を超えられるような立派な教師になりたいと思う。

平成30年7月セミナー予定 7月14日(土)

<勉強会>は、船橋市勤労市民センター **1時 集合**

1. 知っ得ニュース (池田義光)
2. 日本史教科書の変更点 (池田)
3. 日本史豆知識 (池田)
4. その他 (報告者募集中!)

※終了後 船橋駅周辺で **4:45頃**から**<懇親会>**

⇒出欠席をできれば、**2週間前までに池田宛てにお知らせください**

**お知らせ： 社会科セミナーのホームページは
<船橋市社会科セミナー> で検索ができます！**

本セミナーのお知らせは、このホームページで行います。「次回の社会科セミナーのお知らせ」や「社会科セミナー通信のバックナンバー」「韓国見聞録」や「ベトナム見聞録」も公開されておりますので是非ごらんください。